

令和3年度

「DX等成長分野を中心とした就職・転職支援のためのリカレント教育推進事業」

DX分野リテラシープログラム

## 事業成果報告書

---

令和5年3月

学校法人穴吹学園

穴吹ビジネス専門学校

本報告書は、文部科学省の教育政策推進事業委託費による委託事業として、  
学校法人穴吹学園 穴吹ビジネス専門学校が実施した、令和3年度「DX等成長  
分野を中心とした就職・転職支援のためのリカレント教育推進事業」の成果を  
とりまとめたものです。

## 目次

### 第1章 本事業の概要

1. 本事業の概要	1
-----------	---

### 第2章 活動報告

1. DX 分野リテラシープログラム実施報告	13
2. 受講者アンケート結果	20
3. カリキュラム・シラバス・コマシラバス	26
4. DX 分野リテラシープログラム検討委員会	111

### 第3章 事業終了後の取り組み

1. 事業終了後の取り組みについて	123
-------------------	-----



## 第1章 本事業の概要



## 1. 本事業の概要

### (1) 委託事業の内容

令和3年度「DX 等成長分野を中心とした就職・転職支援のためのリカレント教育推進事業」

### (2) プログラム名称

DX 分野リテラシープログラム

### (3) プログラムの分野

I. DX 等リテラシ一分野

※特にイノベーション喚起につながるデータ活用人材を養成するプログラム

### (4) 厚生労働省 職業訓練受講給付金の対象講座か否か

対象講座とする

## (5) プログラム基本情報

基本情報	計画・目標	実績・成果
職業訓練受講給付金対象プログラム	○	×
受講者数 (20・30・40・50・60名)	40名	9名
部分受講者数 (定員の10倍程度)	400名	21名
総授業時数 (実時間数)	120時間	120時間
プログラム期間	2か月	2か月
プログラムレベル (ITSS、資格等) レベル○相当、○○資格相当 等	ITSS Level 2	ITSS Level 2
オンライン授業の割合	4割程度	2割程度
リカレント担当部署等の設置	既存	既存
事業実施委員会への企業や経済団体等の参加 (必須)	○	○
連携労働局 (連携は必須)	広島県	広島県
キャリアコンサルティングの実施 (必須)	○	○
(任意の目標があれば、適宜追加)		
就職・在職率目標 (80%以上)	%	%
新規就職・転職者数	10名	－名
受講者からの評価 (肯定的評価80%以上)	80%以上	92.1%
企業等の評価 (プログラム実施後の肯定的評価80%以上)	80%以上	%

## (6) プログラムの目的

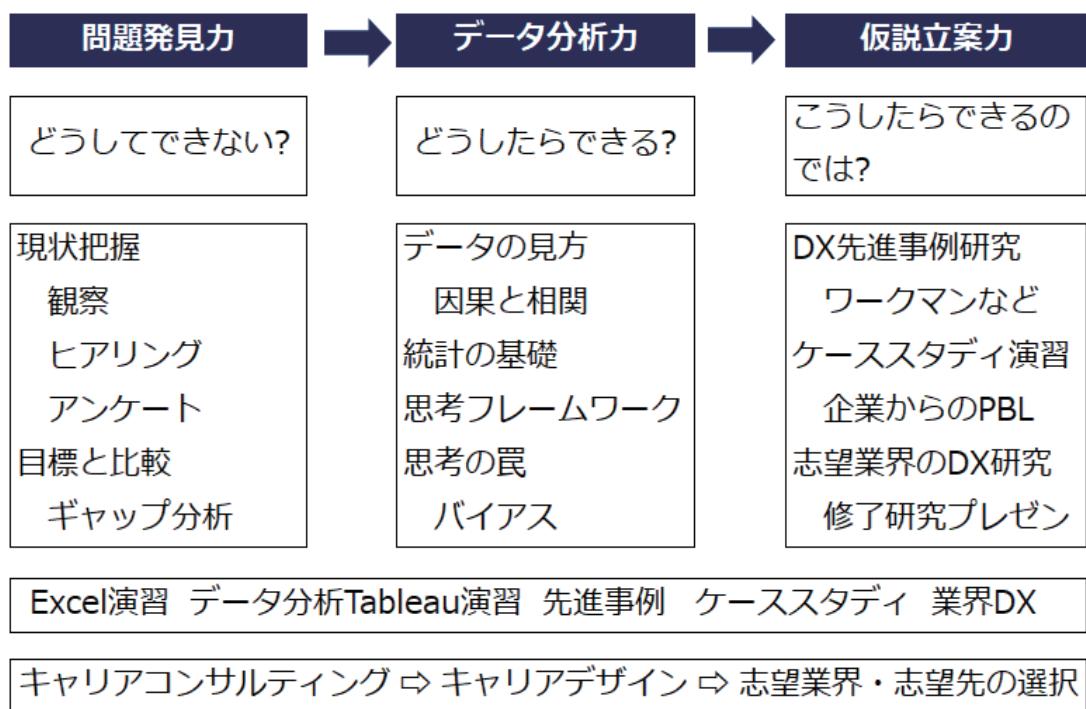
本事業では、データサイエンティストという職種がまだ定着していない現状においては、それを目指し学んできた人材を就職につなげるためには、営業、販売、企画、製造など、既存の職種の中に、データサイエンスの思考をインストールし、社内から生産性向上、業務改善や新しいサービスの企画提案などのイノベーションを起こしていくことが必要である。

本事業では専門学校ならではの就職支援ノウハウ(面接 職務経歴書の書き方など)も活用し、DX人材の育成と就職という目的を実現する。

## (7) プログラムの対象者

主に非正規雇用労働者や失業者を対象に、その他性別・年代を問わず DX(データ活用によるイノベーション等)に関心のあるものとする。

## (8) プログラムの概要



### 【課題認識と補足説明】

DX、データの有効活用には、“問題解決”より“問題発見”が重要である。足らぬのは解決手段ではなく、問題発見能力、つまり上流から考え、問題を定義することから始めるべきである。

問題が定義されれば、問題解決に向け、データ収集と分析から仮説立案まで、データも有効に活用される。

そんな課題認識から、本事業では問題発見から始め、仮説立案までの能力を身につけるプログラムを提案する。

さらに就職後もリカレント教育を習慣化させるため、サポート、フォローアップの仕組み(修了生コミュニティの形成)も構築し、DX人材の継続的育成を図る。

## (9) 既存の同分野プログラムとの違い

### ①分野の違い

既存プログラムは医療事務、経理など既存の特定職種に絞った就職支援プログラムであるが、今回提案する「DX分野」は特定職種に限定しない職種横断的、汎用的なものである上、まったく新しい分野であり、将来的に育っていく分野である。

### ②既存プログラムの改善を取り入れた提案プログラム

#### ②-1 受講生のレベル格差の是正

特に PC スキルや基礎学力等に差があると、講義、実習のレベル調整(どのレベルに合わせるか)に課題が残る現状がある。本プログラムではベネッセグループで 6800 を超えるコンテンツを持つ UdemyBusiness を活用し、いつでも、どこでも、何度でも視聴できるというメリットを生かし、予習、復習、自習できる環境を用意することで受講生のレベルの標準化と底上げを図る。

#### ②-2 修了生の質の保証

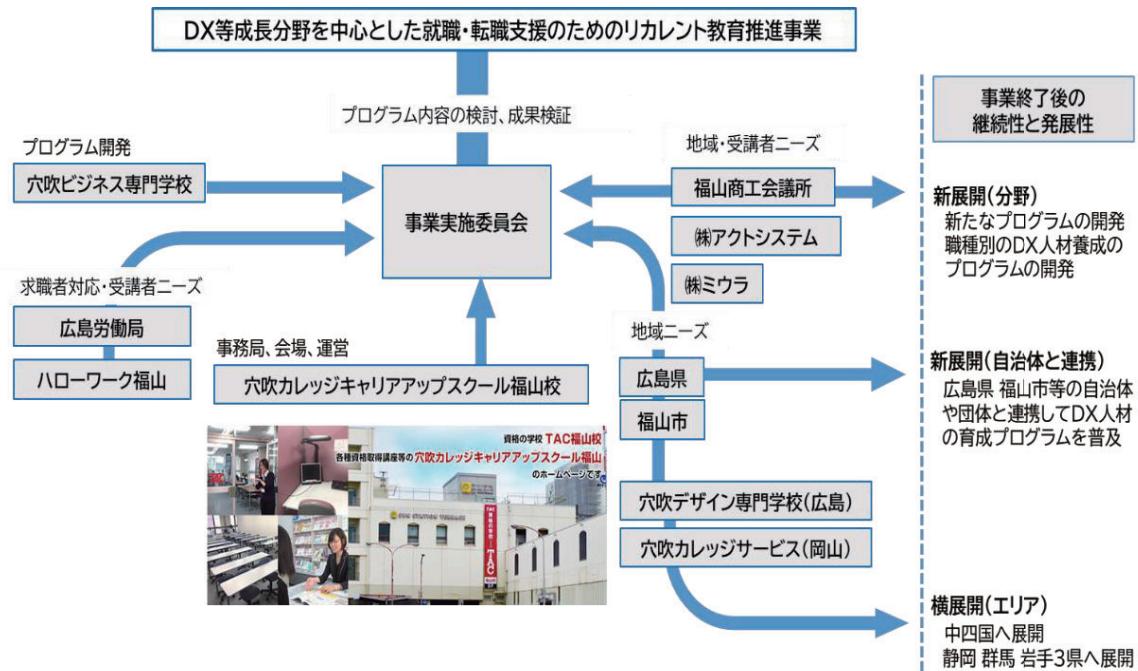
②-1 と関連するが、せっかく受講しても、そもそもレベルに差があるままだと、修了生の質の保証が難しくなる。そこで、本プログラムの最終段階では、受講生が志望する業界、職種(あるいは企業)にスポットを当てて、データ活用による問題提起と提言などをまとめたプレゼンを行い、その評価を通じて受講生の質の保証を図る。さらに、その場で企業が聴講することで、受講生が自らをプレゼンする就活の場としても活用する。

#### ②-3 修了後の継続サポート体制

受講生が修了後もつながっていけるよう、オンラインなどでコミュニティを構成し、就職後の悩みの共有や、データ活用法を学び合う勉強会などの情報交流の場を設ける。主催者として学校側から、キャリアコンサルタントや学習アドバイザーも加わり、適宜、アドバイスも行う。

修了生にとっては、モチベーションアップや学びの継続、社内での活躍の場を広げる機会となる。学校としても、修了生の就職先での活躍ぶりを把握すること、業界、職種に合わせて DX 人材育成のための新たなプログラム開発のヒントや気づきを得られるというメリットもある。

## (10) 事業の概念図



## (11) プログラム実施体制イメージ

### ◆DX 分野リテラシープログラム検討委員会

【目的・役割】 DX 分野における就職・転職支援のためのプログラム開発を目的に、募集・見学協力、成果検証等の役割を担う。

【委員数】 12名

【開催頻度】 3回

組織		役割 協力を得る事項
1	穴吹ビジネス専門学校	プログラム開発・実施主体 事業実施委員会の開催 横展開
2	穴吹カレッジキャリアアップスクール福山	事務局、受講生募集・広報、受講会場、プログラム運営
3	福山市 経済環境局経済部産業振興課	事業実施委員、受講生募集、部分受講者の募集・広報
4	ハローワーク福山	事業実施委員、職業訓練受講給付金窓口、受講生募集・広報
5	広島労働局	事業実施委員、職業訓練受講給付金窓口、受講生募集・広報
6	福山商工会議所	事業実施委員、受講生募集、部分受講者の募集・広報
7	広島県 商工労働局	事業実施委員、受講生募集、部分受講者の募集・広報
8	株式会社アクシスシステムズ	事業実施委員、受講生募集、部分受講者の募集・広報
9	株式会社ミウラ	事業実施委員、受講生募集、部分受講者の募集・広報
10	広島県東部機械金属工業協同組合	事業実施委員、受講生募集、部分受講者の募集・広報
11	株式会社穴吹カレッジサービス(岡山)	事業実施委員、横展開の際 岡山市の運営主体、求人開拓の協力
12	穴吹デザイン専門学校(広島)	事業実施委員、横展開の際 広島市の運営主体、求人開拓の協力

## (12) プログラムの継続的取り組みに向けた学内整備

本学にはリカレント教育を目的とした組織として、穴吹カレッジキャリアアップスクールが 1996 年よりすでに設置されており、社会人向けに簿記、税理士、社労士などの資格取得講座や就職支援講座、企業向けに新入社員研修、管理職研修なども手掛けている。

同様の組織が、岡山市、高松市、徳島市にもあり、それらは本事業終了後、中四国での横展開の拠点とする予定である。

## (13) 総授業時間数・期間

(総授業時間数) : 120時間

(期間) : 2か月

## (14) 想定する受講者数、受講者の募集方法

(想定する受講者数) : 40名(非正規雇用労働者20名、失業者20名、2回に分けて募集)

(募集方法) : ハローワークからの紹介、図書館等へのチラシ設置、福山市広報誌など地元メディア  
パブリシティー

## (15) プログラムで習得できた能力と就職・転職先の出口

(身につけられる能力) : 独立行政法人情報処理推進機構(ITSS)の IT スキル標準の level2

相当

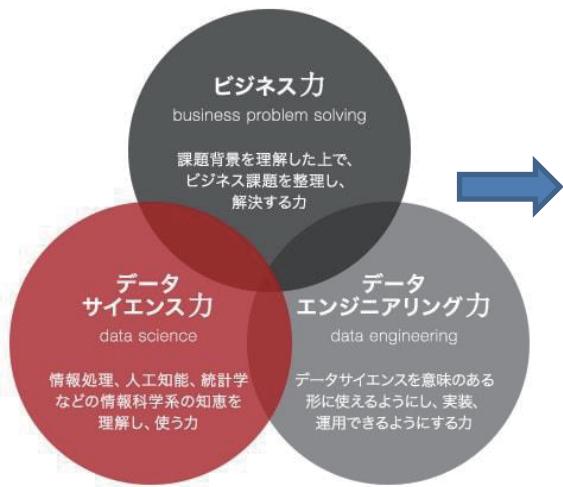
：データを活用した問題発見能力

：データを活用した仮説立案力

(就職・転職先等の出口)：特定の業種、職種ではなく幅広く対応

(活躍するシーン) : データ収集、データ分析力を生かして、問題を発見しどうすれば解決できるか、仮説レベルの案を立案し、提案するそこから業務改善による生産性向上や新商品、新サービスの開発など社内にイノベーションを喚起する人材

## データサイエンティストに求められるスキルセット



左図の3つの力のうち、本プログラムでは特に「ビジネス力」に焦点を合わせ教育  
データ収集 データ分析に基づく問題の発見力と仮説の立案力、計数感覚も身につき、いわゆる「会社の数字に強い人」と言われる力が身につく

(データサイエンティスト協会)

## (16) 授業科目・担当講師・外部講師の活用

科目名	内容	担当講師	時間数
IT基礎	ビジネスの現場で様々なデータを活用するための基礎的な知識と Excel を用いた具体的な分析方法を学習する。	大元 元巳	10
Excel 実習	データ分析のための Excel 実習、特に関数について学習する。	島田 知世子	17.5
Tableau 実習	Excel データを簡単にグラフ化するなどの分析ツールとして便利な Tableau(タブロー)の基本操作について学習する。	藤井 智之	2.5
問題発見 データ収集法	観察、ヒアリング、アンケート調査などのデータ収集法から問題発見のプロセスを学習する。	福田 稔	10
統計の基礎 データ分析法	平均値、中央値、最頻値、因果関係と相関関係、目的と手段の違い、バイアスなどの思考の罠等を学習する。	福田 稔	10
仮説立案法	解決案を考えるプロセスでの仮説の立て方、思考の型としてのフレームワークを学習する。	福田 稔	10
マーケティング 基礎	SWOT、4P、3C などのマーケティングの基礎理論やプロスペクト理論などの行動経済学等を学習する。	福田 稔	10
データ活用先進 事例研究	代表的な経営分析ツール、現代のビジネスモデルについて学習する。具体的な数値で与えられた経営課題を学んだことを活用して解決する。	伊沢 剛	10
PBL ケーススタ ディー演習	企業が公開している中期経営計画や決算情報を用いて経営戦略、経営課題を読み取り、活用できる IT 技術を考え IT 戦略を立案するケーススタディー。	伊沢 剛	15
業界・職種 課題研究	志望する業界や職種の課題とその解決に向けた提言をデータを基にまとめ、プレゼンをする。	福田 稔	15
キャリア デザイン	自分自身のキャリアを見つめ直し、将来に向けたキャリアデザインを行い志望企業を設定する。	水谷 郁恵	10

計 120

## (17) 授業の実施方法

(形態) : 座学と実習、対面とオンライン(UdemyBusiness)を組み合わせたハイブリッド型の授業  
※UdemyBusiness は授業開始時点でのバラツキの是正、復習・応用に活用  
(流れ) : 基礎的な知識、インプット中心の座学から始め、徐々に実践的な技能・演習へと進む。  
(時間帯) : 平日夜間 18:30~21:00、土日 10:00~16:00 週15時間×4週×2か月  
(1コマ) : 75 分 (休憩適宜)  
(質問・相談体制) : 授業終了後に質問や学習相談を個別に受け付ける。

## (18) 受講者の就職支援

(広島労働局 ハローワーク福山) : 職業訓練受講給付金の紹介窓口  
(穴吹ビジネス専門学校) : 労働局及びハローワークと連携し、受講者に対して企業説明会など就職支援に係る各種イベントの情報を提供  
(穴吹学園就職キャリアセンター) : 職員が定期的に企業訪問しており、DX人材などのニーズ開拓とともに中途採用ニーズがあれば受講生に紹介  
(キャリアコンサルティングの実施方法) : プログラムを通じてキャリアコンサルティングを実施し、受講者のキャリア形成支援を行う。  
(実績) : 対象者 2 名に本人らの希望により、「キャリアデザイン」担当講師と対面で実施した。

## (19) 社会人の受講しやすい工夫

- ① 平日夜間・土日での開講とした。非正規雇用労働者・失業者ともに通いやすい時間帯
- ② 学習開始時点での、知識・経験にバラツキがあることが予想されるためオンデマンド教材 UdemyBusiness を付与した。

※UdemyBusiness については、各自の興味や課題意識に応じて、さらに学びを深めることができ、学び放題なので、学習のモチベーションを高めることができる。  
また学習アドバイザーがおすすめコンテンツを個別にアドバイスした。

- ③ 学習アドバイザーが、平日・土日の授業外の時間で、学習方法や学習相談等を隨時受付し対応した。

## (20) 新型コロナウィルス感染症予防の観点

- ①入館前に出入りするすべての学生・職員は手指消毒、検温、マスク着用を義務付ける。
- ②検温時に 37.5 度以上あれば入室を禁止し、PCR 検査を受け結果報告を義務付ける。
- ③陽性反応が出た場合は保健所の指示に従う。クラスで陽性反応者が確認された場合は同クラス全員に PCR 検査を受けるよう促すとともに保健所の指示に従うこととした。

## (21) 受講費用の設定

職業訓練受講給付金対象講座のため、無料

## (22) プログラムの目標に対する実績

	基本情報	計画・目標	実績・成果
1	受講者数	40 名	9名
2	部分受講者数(定員の10倍程度)	400名	21名
3	就職率	85%以上	0%
4	就職・在職率	90%以上	在職率 100%
5	新規就職・転職者数	10 名	0 名
6	受講生からの肯定的評価(80%以上)	90%以上	92%
7	修了研究プレゼン評価B以上	80%以上	※対象者なし
8	企業等の評価	90%以上	※対象者なし

※7・8 については「業界職種 課題研究」において該当する受講者いなかった(プレゼンなし)。

## (23) プログラムの他の教育機関・企業での活用

### (エリア・他の教育機関の拡大 その1)

一般社団法人香川県専修学校各種学校連合会、一般社団法人全国専門学校教育研究会の二つの法人に対し、成果報告と会員校への導入促進へ働きかける。

### (エリア・他の教育機関の拡大 その2)

穴吹学園関連教育機関への展開、広島市の穴吹デザイン専門学校、岡山市の穴吹カレッジサービス岡山営業所への成果紹介と導入促進へ働きかける。

### (エリア・他の教育機関の拡大 その3)

定期的に情報交流している、静岡県の「鈴木学園」、群馬県の「中央カレッジグループ」、岩手県の「龍沢学館」の3法人の専門学校への導入・活用促進を働きかける。

### (企業での「部分受講者」の募集促進)

広島県中小企業家同友会や福山商工会議所、広島商工会議所などを通じ会員企業へ「部分受講」を勧める。

## (24) プログラムの成果検証

### (成果検証の方法)

講座は、11月と1月 2クール実施、それぞれ講座終了後受講者アンケート及びヒアリングを実施し、アンケート結果について事業実施委員会(12月と2月)で検証する。

### (受講者アンケート項目)

- ①総合的な満足度
- ②授業進度(速さ)
- ③授業時間数(長さ)
- ④難易度(むずかしさ)
- ⑤教材について
- ⑥授業の開始時間について
- ⑦授業の開催場所について
- ⑧開催期間について
- ⑨さらに学びたい知識・技術は何か(選択式)
- ⑩セミナー・講習等受講する際に重視することは何か(選択式)

## (25) 取り組みの年間実績

令和4年度 >>>

9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
第1回委員会 広報募集		講座① 広報募集	第2回委員会 就職支援		第3回委員会 講座②	
	→		→		→	

## (26) 事業期間終了後の継続的な取り組み計画

令和5年度 >>>

(横展開 エリアの拡大①)

団体・法人 : 一般社団法人香川県専修学校各種学校連合会、一般社団法人全国専門学校教育研究会への成果報告と導入促進への働きかけ

他の教育機関 : 香川県内の他の専門学校へ普及促進

展開先(広島市) : 穴吹デザイン専門学校

展開先(岡山市) : 株式会社穴吹カレッジサービス(TAC岡山校)

令和6年度 >>>

(横展開 エリアの拡大②)

他の教育機関 : 穴吹学園が所在する香川県、徳島県、定期的に情報交流している静岡県、群馬県、岩手県の専門学校への横展開

(展開 分野の細分化)

小売業など特定の業界、営業、事務など特定職種に絞った「業種別・職種別のDX人材育成プログラム」の開発

令和7年度 >>>

(横展開 新プログラムの開発)

令和4年～6年の実施、成果検証をもとに新しいプログラムを開発

(例)基礎編 → 応用編 上級編

(DXの普及浸透)

福山市の「びんごデジタルラボ」と協働し、DXの成果先進事例を全国に向けて発信・啓蒙活動をしていく